

25春闘中央行動開催！

全国港湾・港運同盟は、3月5日水から6日木にかけて「25春闘勝利・大幅賃上げ！『荷主・ユーザーは利益を港湾に還元せよ！』」をスローガンに『25春闘中央行動』を取り組んだ。この取り組みは、国土交通省・厚生労働省・経済産業省・資源エネルギー庁への行政交渉と日本貿易会、外国船舶協会へのユーザー要請行動の他、2日目は横浜港・川崎港・東京港の仲間と千代田区労働の参加を経て、約180名規模で、荷主・ユーザーが本社を構える東京丸の内周辺をデモ行進し、荷主・ユーザーへアピールした。

中央行動1日目は、5日 対して『要請書の項目は（水）10時から25春闘中央へからず重要なものであり、25春闘では各要求項目すべてにおいて大幅前進した交渉を行い、港湾労働を取り巻く環境のなかでも喫緊の課題である石炭荷役問題を、全国港湾・港運同盟の中心に職場の厳しい現状を訴え、関係行政としての責任ある対応を厳し追及した。

13時から、国土交通省前に全国港湾・港運同盟の代表合計70名が集集し、交渉では、事前に国土交通省・厚生労働省に事前に申し入れ書を手渡し説明していることから、国土交通省・厚生労働省より文書での回答が提示され、その解答に対して組合側が主張やデモ行進し、『荷主・ユーザーは利益を港湾に還元せよ！』をスローガンに『25春闘中央行動』を取り組んだ。この取り組みは、国土交通省・厚生労働省・経済産業省・資源エネルギー庁への行政交渉と日本貿易会、外国船舶協会へのユーザー要請行動の他、2日目は横浜港・川崎港・東京港の仲間と千代田区労働の参加を経て、約180名規模で、荷主・ユーザーが本社を構える東京丸の内周辺をデモ行進し、荷主・ユーザーへアピールした。

3月5日（第一日目）



3月6日（第二日目）

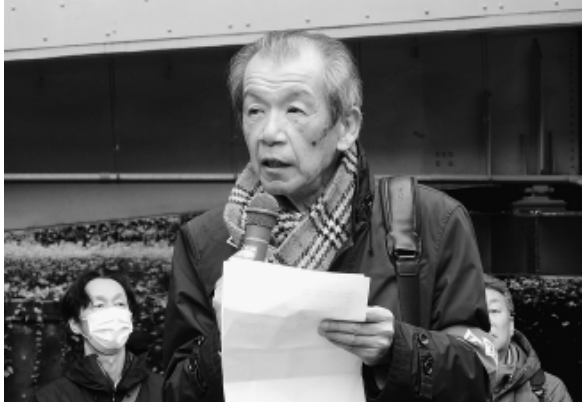


25港湾春闘総決起集会

3月18日（火）17時30から日港福会館2階会議室にて、25港湾春闘総決起集会が開催され、全国の仲間とリポートで現在の港湾春闘の進捗状況や第3回中央港湾団交に向けた決意表明、25春闘勝利に向けた団結を呼びかけた。

集会開催に向けたあいさつで、竹内中央委員長は、我々の要求は多岐にわたるが、港湾労働の確立、人員不足対策に資するものである。日港協は人員不足対策を謳うのであれば、我々の要求に対し誠意ある回答を行ってほしいと第3回中央港湾団交での回答を求めた。具体的な行動を判断しなければならぬ。ただ、春闘を組織するために春闘勝利に向けて、全国の仲間の団結の力を引き続き磨いていくとお願いすると力強く全国の仲間へ呼びかけた。

港運同盟足立会長は、我々は昨年・一昨年と賃金引上げの機運に乗り、我々の雇用と職域を守り、大幅賃上げを含めた労働条件の改善を求め、業側の誠意ある回答を求めて交渉を重ねてきた。しかしながら、第2回中央港湾団交での業側回答では、賃金引上げの有額回答もなく、我々の意に反する誠意のない回答に終わっている。大企業の25春闘では満額回答が示され、中小企業でも高水準の回答で



25春闘勝利！荷主・ユーザーは巨大な利益を港湾に還元せよ